

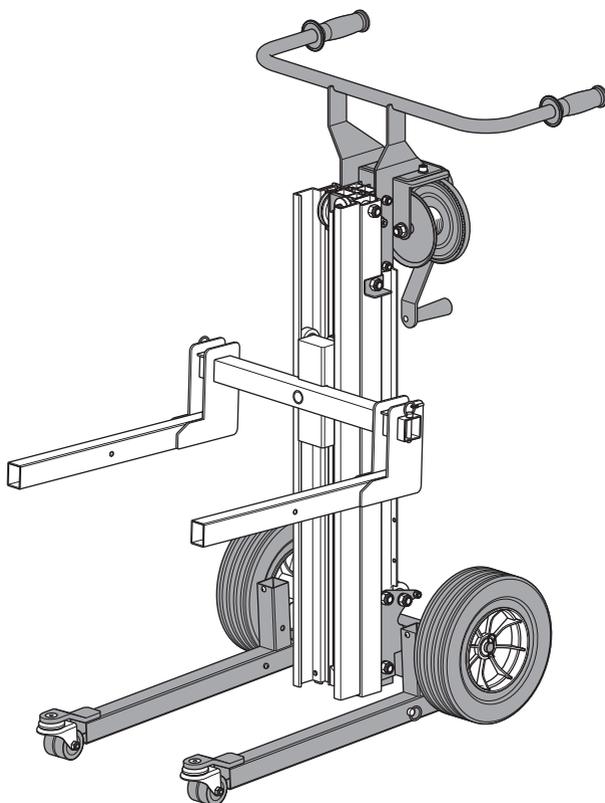
Asada

環境を守る親切ツール

手動リフト

DEKITER120

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

DEKITER120

安全にご使用いただくために

このたびは、手動リフト DEKITER120 をご購入いただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
 - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の2つのレベルに分類されます。

- | | |
|--|---|
|  危険 | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。 |
|  警告 | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。 |
|  注意 | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。 |

目次

一般的な注意事項	2	使用方法	14
本機特有の注意事項	5	上昇・下降操作	14
製品の構成	6	移動	15
各部の名称	6	後輪ブレーキ	16
警告ラベルの貼付位置	6	ブレーキの調整	16
仕様	7	収納（荷台への積込時）	17
標準付属品	7	収納（倉庫等保管時）	18
別販売品	7	保守・点検	19
準備	8	日常点検	19
組立	8	6ヶ月点検	21
フォーク	10	保管	22
目盛ラベル	10	修理・サービスを依頼される前に	23
後輪ブレーキ	11	ブレーキの解除方法	24
トレイ	12		
ショートハンドル	12		
最大積載荷重	13		
荷物の重心位置	13		

一般的な注意事項

- ここでは、本製品を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
- 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険

◆使用前にワイヤロープを調べてください。

1 撚りの間で 10% 以上素線が切断されているもの、直径が 7% 以上減少しているもの、キンクしたもの、著しく形くずれ、または腐食がある場合は使用しないでください。
(P.17『日常点検』参照)

◆改造は絶対行わないでください。

◆積載荷重を越える荷物を搭載しないでください。

定格荷重以上での使用は、フォークの破損、脚の破損、荷物の落下、故障の原因になります。

◆フォークの上で荷物の横移動はしないでください。

荷物の重心がずれ、本機が転倒する恐れがあります。

◆柔らかい地面や傾斜面では使用しないでください。

砂や砂利等の不安定な場所は、本体が不安定となり荷物の落下や転倒により故障やケガをする恐れがあります。

斜面、穴、凹凸、破片、滑りやすい地面や床面などでの使用はおやめください。

⚠ 警告

- ◆荷物の重心が本機を中心にかかるようにして使用してください。
- ◆本機に登ったり、ハシゴなどを掛けてマストの片側に負荷をかけないでください。
- ◆昇降中のフォーク（荷台）の下に入らないでください。
積載されたものが落下した場合、ケガを起こす恐れがあります。
上昇・下降の作業時には周囲に人がいないことを確認してから作業します。
- ◆操作中は駆動する部品に手・顔を近づけないでください。
- ◆荷物を固定しないまま持ち上げないでください。
フォークから荷物が動かないよう荷物を固定させ、持ち上げる前にベルト等で縛ってください。
- ◆荷物を揺らすような運転はしないでください。
- ◆本機を伸ばした状態または荷物を搭載したままの状態では離れないでください。
- ◆昇降中の荷物を動かさないでください。
- ◆頭上に電線や障害物が無い場所で使用してください。
- ◆トラックの荷台など不安定な場所で使用しないでください。
- ◆修理技術者以外の方は、絶対に分解しないでください。また、改造は絶対しないでください。
異常動作してケガをしたり、故障の原因となります。
- ◆作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には十分にご注意ください。
- ◆雨中や強風時など悪天候の野外や、本機に水がかかる場所では使用しないでください。
- ◆常に荷物はできる限り低い位置で保持してください。
- ◆荷物の動く範囲に人がいる場合は、本機を運転しないでください。
- ◆本機を移動する場合は、必ず荷物が降下された状態で行ってください。

▲ 注意

- ◆各マストに強い衝撃を与えないでください。また、マストを無理に引っ張らないでください。
- ◆本機をご使用いただく前に2～3回空運転を行ない、各部に不具合がないか確認してください。
特にしばらくご使用にならなかったときは、必ず実行してください。
- ◆弊社純正部品を使用してください。
- ◆適切な服装で作業をしてください。
操作時はヘルメット、安全靴、グローブを着用してください。
ネクタイや袖口の開いた服、編手袋、ダブダブの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
- ◆能力を超えた作業及び、指定以外の使用はしないでください。
ケガをしたり本機が破損する恐れがあります。
- ◆作業場所、作業台は常に整理整頓を心がけてください。
安全面だけでなく、作業の能力アップにもつながります。
- ◆不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。
転倒してケガをする恐れがあります。
- ◆水平な地面に本機を設置してください。
不安定な場所は、荷物の落下や転倒により故障やケガをする恐れがあります。

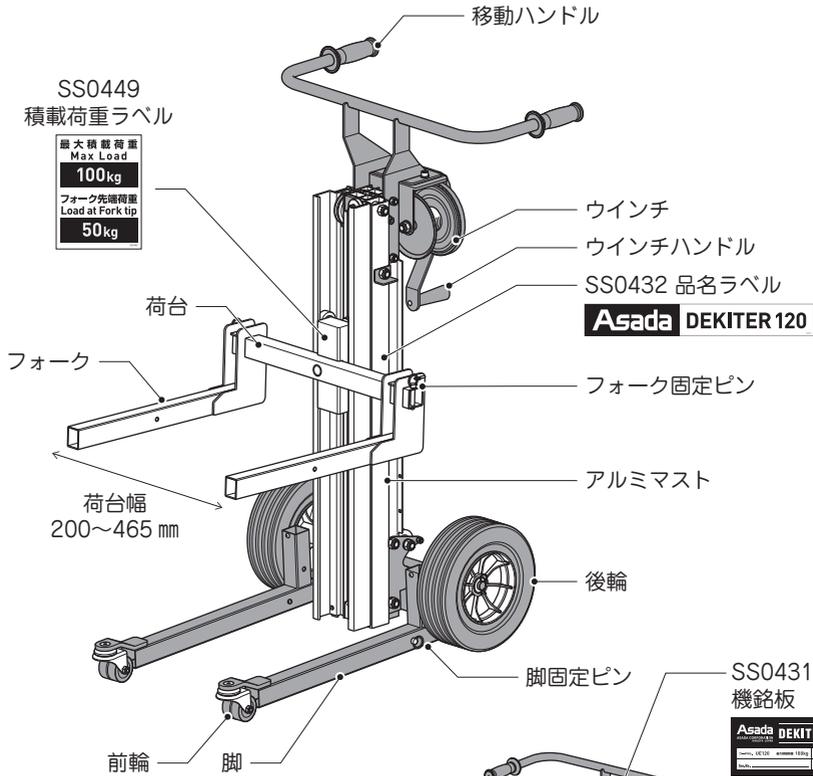
本機特有の注意事項

▲ 警告

- ◆本機は、荷物専用の昇降用リフトになります。使用用途以外の用途には使用しないでください。人・動物の昇降用に使用しないでください。
定期点検は、クレーンの定期自主検査を参考に検査を実施してください。
- ◆本機使用前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。
- ◆荷物の荷重がフォーク先端にかからないようにしてください。
フォークの破損、荷物の落下の原因になります。
使用中は常に安定とバランスが維持されるよう心がけてください。
- ◆破損、変形したフォークは使用しないでください。
荷物の落下の原因になります。
- ◆使用前にウインチのブレーキの動作を確認し、ブレーキが確実に動作しないときは運転しないでください。
- ◆本機の操作には、付属のウインチハンドルのみを使用してください。
他のものを使用すると、本機を破損したり、危険をまねくおそれがあります。
- ◆昇降は、水平な場所で使用してください。
段差、スロープでの使用は本機が移動する恐れがあり使用できません。
- ◆搭載前に荷物の荷重バランスを確認してください。
- ◆本機1台分の最大荷重を超える荷物を、2台のリフトを使用して持ち上げないでください。
- ◆荷物の重心は、前輪の内側に収まるようにして各車輪からはみ出さないようにしてください。
また荷物はできるだけ背面を荷台につけます。
- ◆操作中のウインチドラム及びワイヤロープに手・顔を近づけないでください。
ウインチドラムやワイヤロープにはさまれてケガをする恐れがあります。
- ◆ウインチは荷物を搭載して連続で上昇、下降を繰り返すとブレーキに熱を持ちます。
その場合はしばらくご使用を控え、ブレーキが冷えてからご使用ください。

製品の構成

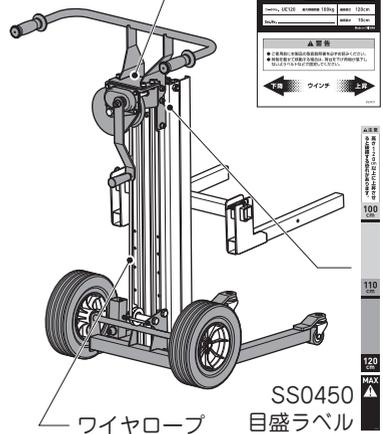
各部の名称



警告ラベル

【SS0449】 【SS0450】 【SS0431】
積載荷重ラベル 目盛ラベル 機銘板

※本機には警告ラベルが貼付してあります。
安全確保のための説明が書かれていますので
きれいに保ち、はがれたり、見つらなくなった場合は、弊社へ請求してください。
そして必ず同じ場所に貼り直してください。



DEKITER120

仕 様

品 名		DEKITER120	DEKITER120 プレーキ付
コード No.		UE120	UE122
最大積載荷重		100kg	
昇降	最高	フォーク下向き	1200mm
		フォーク上向き	1400mm
	最低	フォーク下向き	100mm
		フォーク上向き	300mm
荷台寸法	最小	420 × 200mm	
	最大	420 × 465mm	
外形寸法		L930 × W610 × H1050mm	
梱包箱寸法		L900 × W545 × H320mm	
本体質量		29.7kg	31.0kg
梱包質量		35kg	36.3kg

標準付属品

コード No.	品 名	DEKITER120	DEKITER120 プレーキ付
—	DEKITER120 本体	○	○
UE902	後輪プレーキ組		○
86004	六角棒スパナ 6	○	○
86053	六角スパナ 13	○	○
IM0477	取扱説明書	○	○
IM0486	注意説明書	○	○

別販売品

コード No.	品 名	用 途
UE901	トレイ組	最大積載荷重 100kg
UE902	後輪プレーキ組	停車中のプレーキ
UE903	ショートハンドル	軽負荷用ハンドル
UE904	木製パレット	最大積載荷重 100kg

※ 13 ページの最大積載荷重表を参考にしてご使用ください。

準備

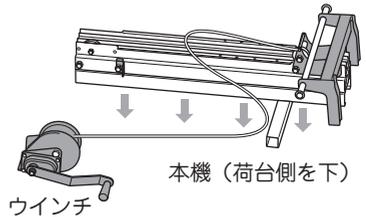
組立

- 水平な固い地面に本機を設置します。

▲ 注意

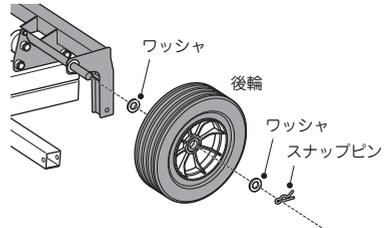
- ◆ **本機は、ウインチがワイヤロープで繋がっています。**
本機を箱から取り出す時にワイヤロープを破損しないように注意します。

- ① 箱から本機とウインチを取り出します。

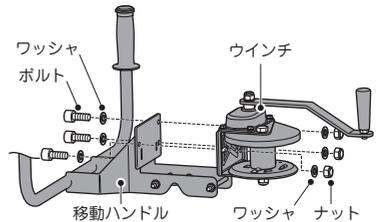


- ② 荷台側を下にして本機を置きます。

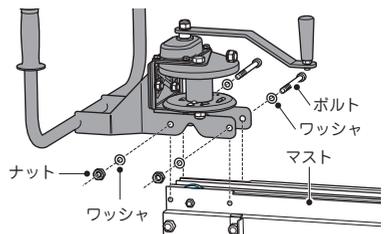
- ③ 左右の脚軸にワッシャ、後輪、ワッシャの順番で取り付けます。最後にスナップピンで固定します。



- ④ 移動ハンドルにウインチを組立てます。
図の様に、ボルト、ワッシャ、移動ハンドル、ウインチ、ワッシャの順番でナットを締めて固定します。

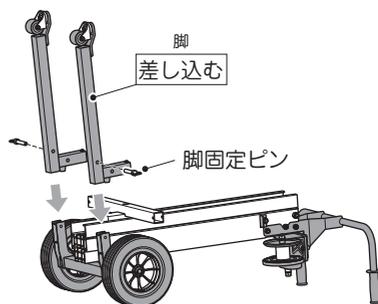


- ⑤ マストにウインチ付移動ハンドルを組立てます。
ウインチ付移動ハンドルをマストに接続してボルト、ワッシャ、ワッシャの順番でナットを締めて固定します。

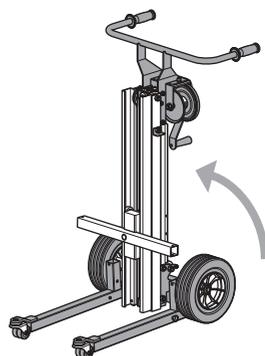


DEKITER120

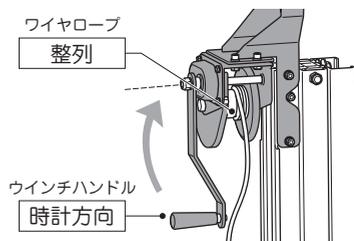
- ⑥ 本体を 180° 反転し荷台を上に乗します。
- ⑦ 脚をマストに対して 90° で脚を差し込みます。
脚固定ピンを差し込みます。



- ⑧ 本体を立てます。



- ⑨ ウインチハンドルを時計方向に回してたるんだワイヤロープを巻取ります。
ワイヤロープを巻き取る時は、整列して巻き取ってください。



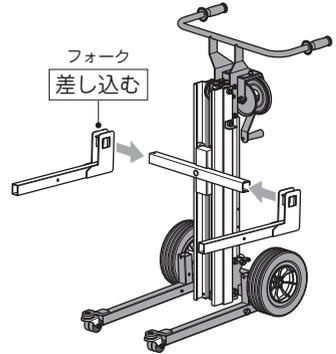
⚠ 警告

- ◆ リフトを横に倒す際、リフトを落とさないでください。
リフトの破損及びケガをする恐れがあります。
- ◆ 各固定ピンが本体の穴にはまっていない場合は、直立の収納状態や操作状態でリフトを動かさないでください。
- ◆ ワイヤロープが絡まっている場合は必ず、ワイヤロープを整列して巻き取ってください。
ワイヤロープがつぶれて、ワイヤロープの破損の原因になります。

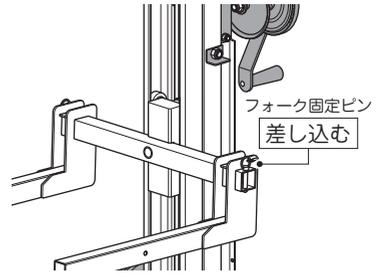
フォーク

フォークは下向きまたは上向きで使用できます。

- ① フォークを水平にして荷台にフォークを差し込みます。



- ② 荷台にフォーク固定ピンを差し込みます。
- ③ フォークが抜け落ちないか確認します。



準備

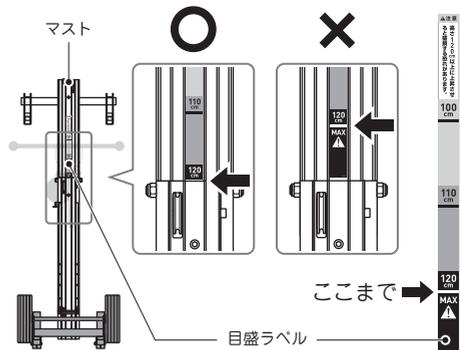
⚠ 警告

- ◆ フォーク固定ピンは、先端が角パイプより出るまで差し込んでください。

目盛ラベル

本機は、フォーク下向きで最高高さ 120 cm 以下で使用してください。

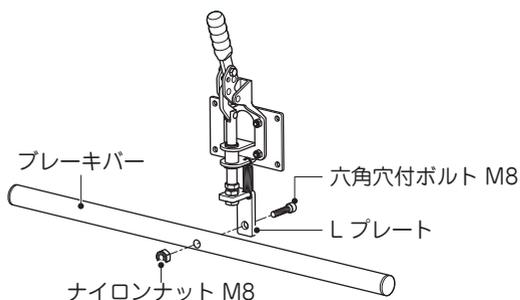
マストを上昇させ、120 cm のラインが現れたら、それ以上マストを上げないでください。



DEKITER120

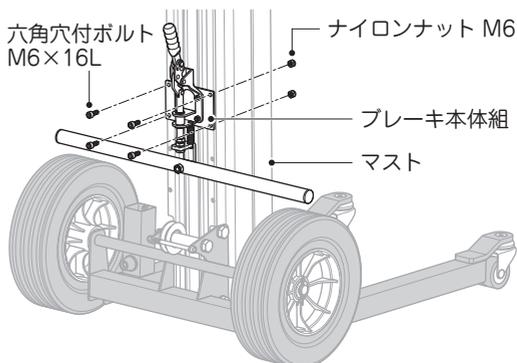
後輪ブレーキ（UE120 は別販売品）

- ① ブレーキ本体組の先端の
Lプレートにブレーキバーを
六角穴付ボルト M8、
ナイロンナット M8 で
固定します。

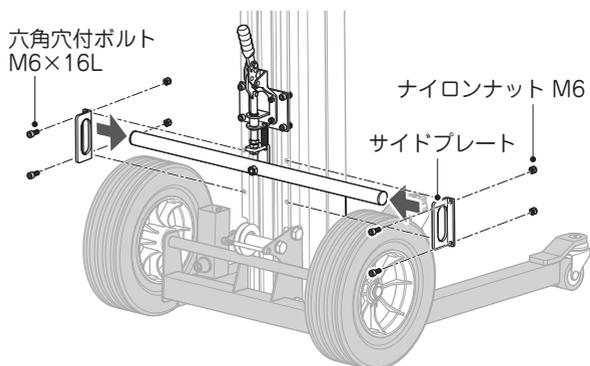


- ② ブレーキ本体組をマストに
六角穴付ボルト M6 × 16L、
ナイロンナット M6 で
固定します。

この時ブレーキバーはワイヤ
の内側にくらせてブレーキ
本体を固定します。

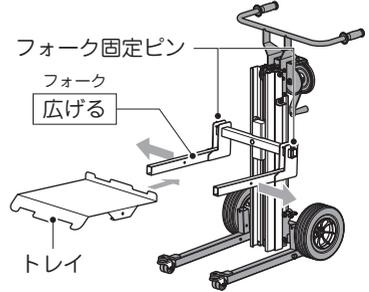


- ③ ブレーキバーの左右に
サイドプレートを差込み、
サイドプレートを
六角穴付ボルト M6 × 16L、
ナイロンナット M6 で
固定します。

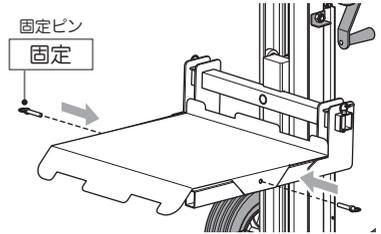


トレイ（別販売品）

- ① フォークを左右のフォーク固定ピンに当たるまで広げます。
- ② 正面よりトレイを差し込みます。



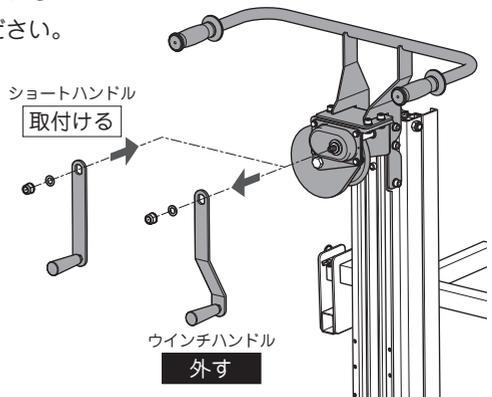
- ③ 左右の穴に固定ピンでトレイを固定します。



準備

ショートハンドル（別販売品）

- ショートハンドルは、ウインチについているウインチハンドルを外し、取付けてください。



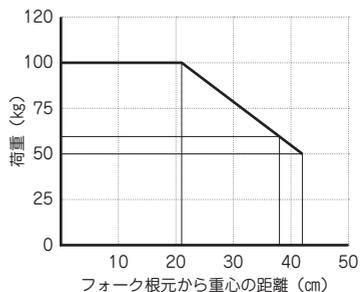
▲ 注意

- ◆ ショートハンドルを取り付けた DEKITER120 は、荷台に積込の収納は出来ません。本機を倒すとショートハンドルが床に当たりハンドルが破損します。荷台に積み込む場合は、ショートハンドルを外してください。

DEKITER120

最大積載荷重

- 最大積載荷重は、荷物の重心位置で変化します。荷物の重心位置による最大積載荷重は、右表の荷重範囲以下で使用してください。

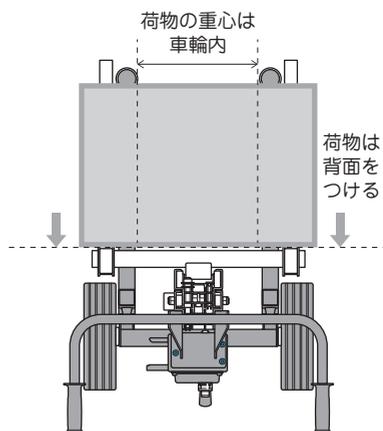


⚠ 警告

- ◆ 各車輪が、必ず接地していることを確認して使用してください。
車輪を地面から浮かした状態では使用できません。
- ◆ 水平な場所で昇降作業をしてください。
段差、スロープでの使用は本機が移動する恐れがあり使用できません。

荷物の重心位置

- 荷物の重心位置は、前輪の内側に収まるようにしてください。
荷崩れを防止するため、荷物の背面を荷台につけてください。



⚠ 警告

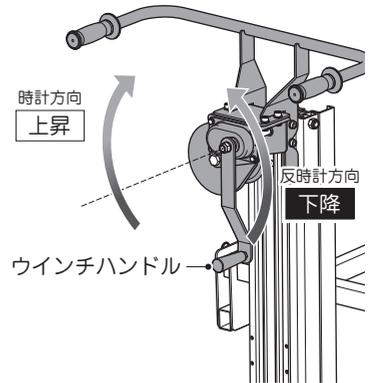
- ◆ 荷台、フォークを伸ばす等の改造はしないでください。
重心が車輪より外に出る事により本体が転倒します。
また荷物の落下の原因となります。

使用方法

上昇・下降操作

- 上昇、下降の操作は、ウインチハンドルを左右に回して行います。

上昇	ウインチハンドルを時計方向に回すと上昇します。上昇するとラチェットが「カリ・カリ」と音がします。
停止	ウインチハンドルの回転を停止するとその場でブレーキが作動します。
下降	ウインチハンドルを反時計方向に回すと下降します。下降時及び下降中にブレーキがかかります。回転に若干力が必要となります。



- ① 不安定な荷物は必ずバランスをとって、持ち上げる前に荷物をベルト等で固定します。
- ② ウインチハンドルを時計回りに回し、荷物を上げます。その間、頭上の障害物に気を付けてください。
- ③ 荷物をフォークから降ろしたら、ウインチハンドルを反時計回りに回してマストを下げてください。
- ④ 下降時または荷物を降ろした後、ウインチハンドルが下げられない場合は、24 ページの「ブレーキの解除方法」を参考に解除してください。

⚠ 警告

- ◆ 上昇操作中、「カリ・カリ」と音がしない場合、ブレーキが正しく動作していません。直ちにご使用を中止して点検、または部品を交換してください。
- ◆ DEKITER120 には乗らないでください。本機は乗用ではありません。人・動物の昇降用に使用しないでください。
- ◆ 雨中や強風時など悪天候の野外や、本機に水がかかる場所では使用しないでください。荷物が急激に落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

- ◆ 本機を使用する場合は、必ずフォークを取付けて行ってください。フォークを取付けない状態で、下降操作を行うと荷台が下降しません。またワイヤロープが絡まりワイヤロープが破損します。

DEKITER120

移 動

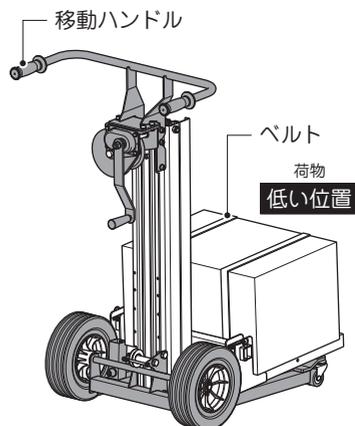
● 本機の、移動ハンドルを持って移動（前進・後退）してください。

① 本機で荷物を運ぶ時は、安全に移動するため、荷物を低い位置に降ろしてください。

② 荷物を載せて本機を動かす場合は、

- ・ 障害物がないことを確認する。
- ・ 荷物や、作業者の周りに人を立たせない。
- ・ 本機をゆっくり動かし、突然の急発進、急停車を避けてください。
- ・ 荷物をベルト等でフォークに固定した後、不安定な状態になっていないか確認してください。

③ 本機をゆっくりと移動させてください。

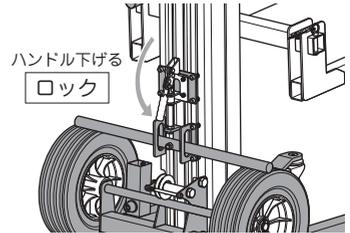


⚠ 警告

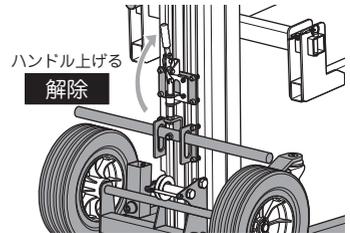
- ◆ 転倒や作業者のケガを避けるため、リフトは平坦な場所でのみ移動します。
- ◆ 荷物を持ち上げた状態で移動しないでください。
荷物が落下してケガをする恐れがあります。
- ◆ 荷物を搭載して移動する時は、フォークから荷物が動くのを防止してください。
- ◆ リフトを改造して、重心をフォークの先端にかけないでください。
リフトが不安定になり転倒します。
- ◆ ワイヤロープを引っ張って移動しないでください。
- ◆ 必ず四本の車輪が地面にしっかり接地している状態で使用してください。
地面にしっかり接地しないと転倒する恐れがあります。

後輪ブレーキ（UE120 は別販売品）

- ① 後輪ブレーキは、ハンドルを下げるとハンドルにロックが掛かり、同時にブレーキが効き、後輪がロックします。



- ② ハンドルを上げるとブレーキが解除されます。



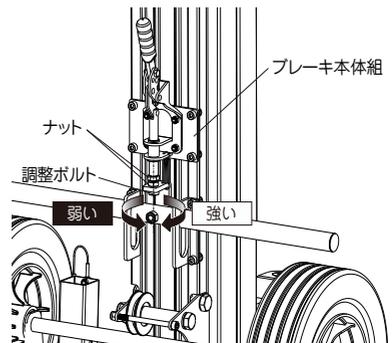
⚠ 注意

- ◆ 本ブレーキのロック及び解除は、移動ハンドルの下で行います。作業後、立ち上がる際、頭上の移動ハンドルに注意してください。顔や頭にケガをする恐れがあります。

ブレーキの調整

後輪ブレーキは、調整が可能です。

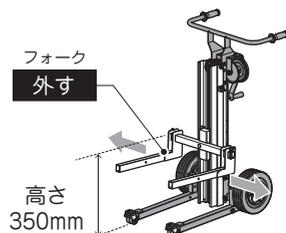
- ① ブレーキ本体組の2箇所のナットを緩めます。
- ② 下部の調整ボルトを右に回すとブレーキの効きが弱くなり、左に回すとブレーキの効きが強くなります。
- ③ 調整後、上のナットはレバー側に締めて調整ボルトを固定、下のナットはLプレート側に締めて調整ボルトを固定します。
- ④ ハンドルを下げきり、ハンドルにロックが掛かる位置で適切なブレーキ力になるよう調整します。



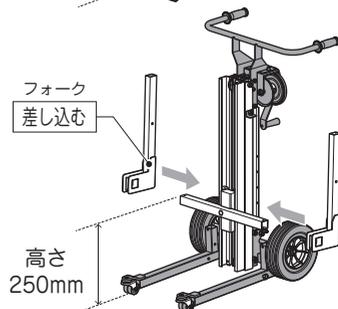
DEKITER120

収納（荷台への積込時）

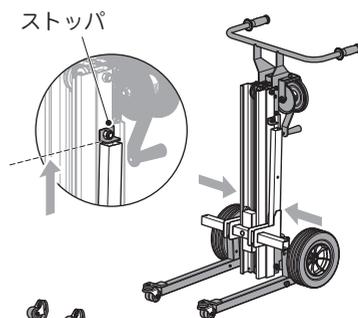
- ① 荷台を高さ 350mm にして、左右のフォークを外します。



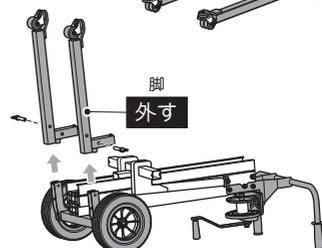
- ② フォーク先端を上に向けて荷台に差し込み、荷台を 250mm まで下げます。



- ③ フォークをマストに近付けます。
④ ウインチハンドルを回して荷台を上昇させます。
⑤ 左側のストップにフォーク先端を当ててフォークを固定します。



- ⑥ 本機を倒します。
⑦ 左右の脚を外します。
⑧ 自動車の荷台に本機と左右の脚を載せます。



収納（倉庫等保管時）

① 荷台を高さ 730mm にします。

② 左右のフォークを外して、フォーク先端を下に向けて荷台に差し込みます。

③ フォークをマストに近付けます。

④ ウインチハンドルを回して荷台上昇させます。

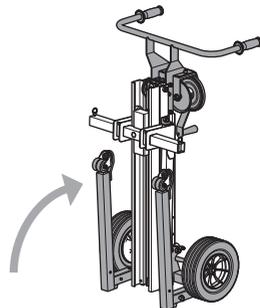
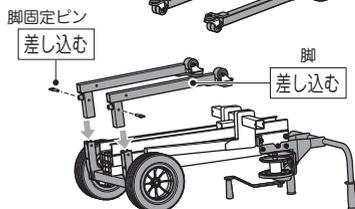
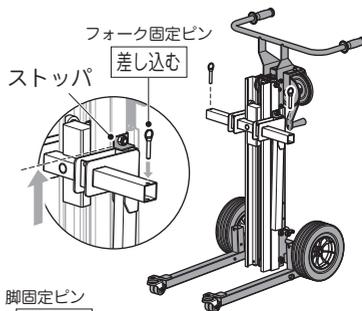
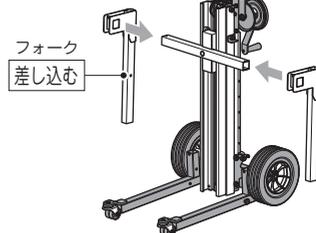
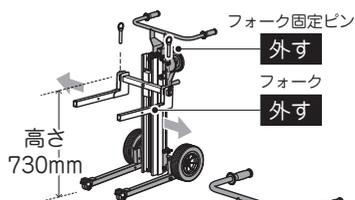
⑤ 左側のストップにフォーク端面を当ててフォークを固定します。

⑥ 本機を倒します。

⑦ 脚を外して、脚先端を本体と水平に差し込みます。

脚固定ピンを差し込み、脚を固定します。

⑧ 本機を起こして倉庫に収納します。



DEKITER120

保守・点検

- 以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

⚠ 警告

- ◆ 改造は絶対しないでください。
DEKITER120 の改造は、ケガや死につながります。

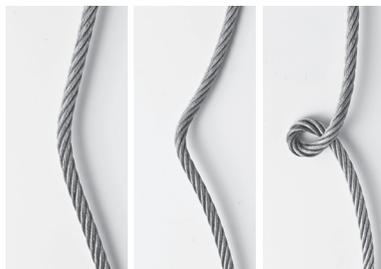
⚠ 注意

- ◆ 磨耗や損傷したものは、弊社純正部品と交換してください。
本機が破損したり、ケガを負う恐れがあります。
- ◆ ワイヤロープへは給油しないでください。
ごみの付着によるワイヤロープの劣化、稼働面への悪影響があり給油禁止です。
シリコングリス等の影響の少ないものを塗布してください。

日常点検

- ① ワイヤロープに以下の損傷がないか点検します。
 - ・ 1 撚りの間に 10% 以上素線が切断されている (10 本以上)
 - ・ 直径が 7% 以上減少している (直径 ϕ 3.7mm 以下)
 - ・ キンクしたもの
 - ・ 著しく形くずれ、または腐食

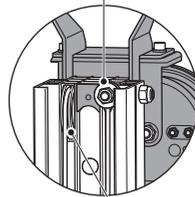
ワイヤロープに異常があった場合は、ワイヤロープを取替えるまで本機を使用しないでください。



- ② すべてのボルトとナットが締められているか確認してください。
特にワイヤロープの端面のねじが確実に固定されているか確認してください。
- ③ ウインチが自由に操作でき、ワイヤロープがウインチドラムに絡まっていないか確認してください。
- ④ ウインチハンドルがウインチに固定されていて、磨耗や曲がりがないか確認してください。
- ⑤ 脚がしっかりと本体に固定されていてマスト、脚、脚ベース、フォーク、ウインチ、各部品に曲がり、へこみやキズがないか確認してください。
- ⑥ プーリのハウジングにプーリが回転するのを妨げるキズ（へこみ）がないか確認する。
- ⑦ ワイヤロープがすべてのプーリに収まり、障害なくプーリが回ることを確認する。

ワイヤロープの端面のねじ

確実に固定

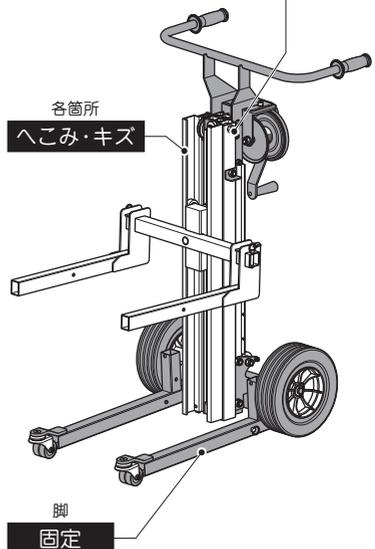


プーリ・ハウジング

確認

全てのボルト・ナット

締付け確認



ウインチ

可動確認

ウインチハンドル

締付け確認

ウインチドラム・ワイヤロープ

ワイヤの絡まり

DEKITER120

⑧ マストが自由に、スムーズに動くか確認する。
ワイヤロープのスライド部に、ゴミや錆がないか確認し、スライド部にシリコン潤滑剤を軽くスプレーする。

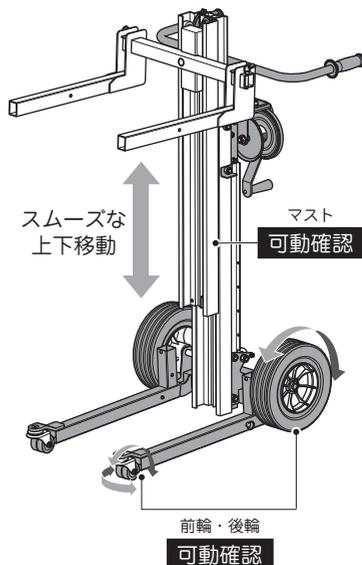
⑨ 各車輪及び脚に異常が無いか確認してください。

車輪・ベアリングの回転に不具合、車輪・ベアリングが破損、車輪の取り付けにゆれみがないかを確認します。異常がある場合は、車輪を交換してください。

また脚に変形がある場合は脚を交換してください。

⑩ 使用後は全体を清掃してください。

全体の汚れはやわらかいうエスでふき取り、汚れがひどいときは、水で浸した布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。その後、乾いた布で拭いてください。



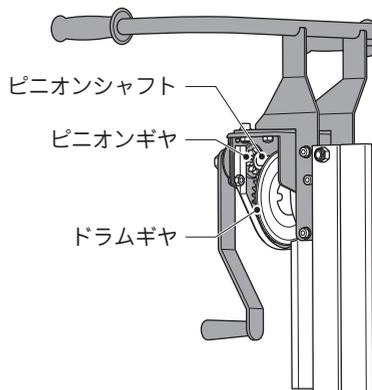
6ヶ月点検

① ワイヤロープにキンク（ねじれ）やほつれがないか検査する。

② ウインチが自由に操作でき、部品が傷ついたり、紛失していないか確認する。

③ ウインチ下記部分の古いグリスを拭き取り、新しいグリスを塗布します。

- ・ ドラムギヤ
- ・ ピニオンギヤ、ピニオンシャフト



保 管

① 保管条件

保管温度 -5℃ から 40℃ まで

湿 度 90%未満（結露なきこと）

保管場所 屋内

② 本機は平らな場所に保管してください。

本機の上に重い物を載せないでください。積み重ねる場合は、梱包箱に入れて、梱包箱表面の記載事項に従ってください。

③ 本機を保管する場所は、振動がなく、破損を受ける危険性のない場所を選んでください。

④ 付属品は、本機と一緒に保管してください。

⑤ 保管期間の制限

本機は、保管または輸送中に保管条件に適合しない環境に置かないでください。

また、保管条件に適合した保管場所であっても、金属部分の錆付きや部分的な欠陥を発生させないため、本製品を3か月以上放置しないでください。

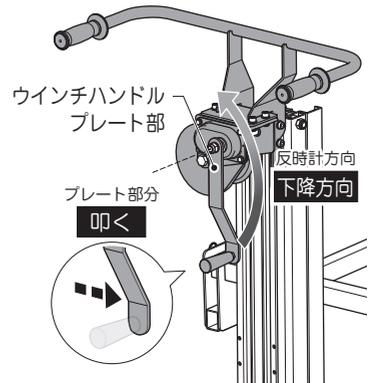
修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や、本商品の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

現象	原因	対策
マストが上がらない	過積載 最大積載荷重以上の物を上げようとしている	最大積載荷重以下で使用する
	フォーク中心に荷物の重心がきていない	荷物の重心をフォーク中心になるように荷物を動かす
	マストのローラが回らない	シリコン潤滑剤で潤滑させる
	マストのローラ部にゴミや障害物がある	ゴミや障害物を取り除く
	プーリホイールが回らない	プーリホイールにキズがある場合、ホイールは滑らかに回転しないので、ホイールを交換する
	ワイヤロープにキズがないか確認する	ワイヤロープがねじれたり、磨耗したり、ほつれたりしていたら、ワイヤロープを交換する
	マストにキズがないか確認する	キズのついたマストを交換する
マストが下がらない ワイヤロープが絡まる	フォークを取付けていない	フォークを荷台に取付けます
これらの解決策でもまだ問題が残る場合	—	販売店または弊社に連絡する

ブレーキの解除方法

- ウインチドラムで、ワイヤの巻き状態が崩れ、ドラムに衝撃荷重が加わったり、最大積載荷重を超えて使用した場合、ウインチハンドルを回転させるのが重くなる場合があります。
(ブレーキが効きすぎる状態)
このような状態になった場合は、プラスチックハンマー等でウインチハンドルのプレート部を下降方向（反時計回り）に叩いてください。ブレーキが解除されます。
ブレーキが解除された後、14 ページの上昇・停止・下降作業を行い、ブレーキが正常に作動するか確認してください。



DEKITER120

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :
購入年月日: 年 月 日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60

TEL (052) 911-7165

E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪

営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バン コ ク)
台湾浅田股份有限公司 (台 北)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
アサダ・インド社 (ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司 (上 海)
アサダ USA (オレゴン州・ユージン)

工 場

犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)
アサダ・マシナリー社 (バン コ ク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

Ver.05 コード No. IM0477 KS